



大阪市ホームページ内に  
**「よくわかる ごみ減量・3R」** を開設しました！

子どもから大人まで、ごみ減量・3Rについて楽しく理解できる「よくわかる ごみ減量・3R」のページです！

ごみの分け方や出し方がわかる動画のほか、お楽しみコンテンツも満載です！新しい情報もドンドン紹介していくので、皆さま、ぜひご覧ください。



「よくわかる ごみ減量・3R」  
 ホームページへ

**こんな時に便利です。**



「よくわかる ごみ減量・3R」の  
 ホームページで確認。

# みんなでプラスチックごみ削減に取り組ましよう

## 大阪市「プラスチックごみ削減目標」

大阪市は、令和元年5月31日付けで「プラスチックごみ削減目標」を策定しました。

現在、プラスチックごみによる海洋汚染が世界的な課題となっており、プラスチック問題に対する国際的な対処が必要となっています。そうした中、平成31年1月には、大阪市と大阪府共同で、2019年G20大阪サミット及び2025年大阪・関西万博の開催地として、プラスチックごみゼロに向け「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行いました。

本削減目標は、上記の宣言や国の「プラスチック資源循環戦略」の内容を踏まえて策定したものです。

この削減目標達成に向けて、市民・事業者の皆さまと連携したプラスチックごみ削減の取組を進めています。

### — 2025年度までに —



- ★ワンウェイのプラスチック（容器包装等）を25パーセント排出抑制（リデュース）する。（2005年度比）
- ★容器包装プラスチックの60パーセントを資源化（リサイクル）する。
- ★ペットボトルを100パーセント資源化（リサイクル）する。
- ★残りのプラスチックごみについては引き続き削減・資源化を進めるが、熱回収を含め100パーセントプラスチックごみの有効利用を図る。

（注）ただし、パーセントは重量比

## 大阪市の取組

### リデュース

- ★大阪エコバッグ運動  
急な買い物の時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する運動
- ★詰め替え用品や代替品の使用などの啓発

### リサイクル

- ★地域・事業者との連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの構築
- ★分別排出の促進などの啓発



# 大阪エコバッグ運動



プラスチックごみ削減の取組のひとつとして、急な買い物時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する「大阪エコバッグ運動」を推進しています。

令和2年7月1日（水曜日）にレジ袋の有料化が全国一律でスタートして以来、1人ひとりのお店でレジ袋をもらわないようにする取組がだんだん浸透してきていますが、「限りある天然資源の消費抑制」、「地球温暖化防止」、「海洋プラスチックごみ削減」など、プラスチックごみによる環境問題の解決にさらに近づけていきましょう。

出かける時はエコバッグを携帯し、レジ袋削減に向けた取組をみんなで進めましょう。

## レジ袋削減に向けた啓発キャンペーン

「大阪市におけるレジ袋削減に関する協定」を締結し、レジ袋削減に向けて、企業・市民団体と連携したキャンペーンを実施しています。

スーパーマーケットやドラッグストアの店頭で、市民団体と一緒にレジ袋削減に向けた啓発やアンケート調査、エコバッグの配付を行っています。



## 【大阪市におけるレジ袋削減に関する協定とは】

大阪市は、ごみ減量に向けて、様々な施策に取り組んでいますが、こうした取組のひとつとして、マイバッグの持参等によるレジ袋の削減に向けて、市民や事業者の皆さまの取組を一層促進するとともに、レジ袋削減の必要性を広く啓発する観点から、16事業者・1市民団体とともに3者による「レジ袋削減協定」を締結し、レジ袋削減に向けた取組を進めています。

また、協定に参加する事業者が、それぞれの立場で市民団体や本市等と連携を図りながら、レジ袋の削減に積極的に取り組むことで、ごみの減量を一層推進するとともに、地球温暖化対策の推進を図っていきたいと考えております。

### レジ袋削減協定 参加事業者(16事業者)・市民団体(1団体)

- 事業者（五十音順） イオンリテール株式会社近畿カンパニー・イズミヤ株式会社・株式会社イトーヨーカ堂・株式会社エコープ近畿・生活協同組合おおさかパルコープ・カナート株式会社・株式会社関西スーパーマーケット・株式会社京阪百貨店・株式会社光洋・株式会社コクミン・株式会社ダイエー・株式会社大丸松坂屋百貨店・株式会社阪急オアシス・株式会社平和堂・株式会社マルヤス・株式会社ライフコーポレーション

- 市民団体 なにわエコ会議

# 新たなペットボトル回収・リサイクルシステムとは

新たなペットボトル回収・リサイクルシステム（みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト）とは、現在、資源ごみとして回収している家庭から排出されるペットボトルを、本取組を実施していただく地域コミュニティ（地域活動協議会等）と参画事業者が連携協働して回収するものです。

この取組では、分別に対する意識をより高めていくことで、さらなるごみの減量・リサイクルを推進します。

さらに、分別の徹底により、質の高いペットボトルを回収することで、日本国内におけるボトルからボトル等を作るといったマテリアルリサイクルを促進し、プラスチックの資源循環を推進します。

## 【新たなペットボトル回収・リサイクルシステムとは】

ご家庭から出されたペットボトルをマテリアルリサイクル（ボトルtoボトル等）することで、資源循環します。

（詳しくは本市ホームページをご覧ください）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000480794.html>



## 阿倍野学習センターで親子市民セミナーを開催しました

令和3年3月20日(土曜日)に、阿倍野学習センターで「親子で学ぼう！ごみ減量・3R」セミナーを開催しました。

セミナーでは、大阪ガスさんが1時限目を担当し、エネルギーと地球環境についてや、冷熱実験など、クイズを交えながらおこないました。2時限目は、環境局家庭ごみ減量課が担当し、ごみの減量やごみの分別など講話をおこないました。



【阿倍野学習センターでのセミナー風景】



このセミナーは、毎年、学校の夏休みにあわせて開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、今年度は春休みの開催となりました。コロナ対策をしながらのセミナーとなりましたが、皆さま楽しみながら参加していただきました。次年度も、開催を予定していますので、ぜひ、参加していただければと思います。

お住まいの地域	担当の環境事業センター	電話番号	FAX番号
北区・都島区・淀川区・東淀川区	東北環境事業センター	06-6323-3511	06-6370-3951
旭区・城東区・鶴見区	城北環境事業センター	06-6913-3960	06-6913-3674
福島区・此花区・西淀川区	西北環境事業センター	06-6477-1621	06-6477-4602
天王寺区・東住吉区	中部環境事業センター	06-6714-6411	06-6714-7787
中央区・浪速区	中部環境事業センター出張所	06-6567-0750	06-6567-0721
西区・港区・大正区	西部環境事業センター	06-6552-0901	06-6552-1130
東成区・生野区	東部環境事業センター	06-6751-5311	06-6753-3041
住之江区・住吉区	西南環境事業センター	06-6685-1271	06-6685-1282
阿倍野区・西成区	南部環境事業センター	06-6661-5450	06-6653-7849
平野区	東南環境事業センター	06-6700-1750	06-6706-2007

